

以下、本文-----

3D gamma index を用いた VMAT 検証の確立

1. 研究の対象

2015 年 1 月～2020 年 10 月に当院で VMAT の放射線治療を受けられる方

2. 研究目的・方法

当院では VMAT は治療計画の線量分布と実測の線量分布を 2D γ 解析することで検証をしています。多くの施設で用いられている本方法では、全体的な線量分布の一致度は分かりますが、照射領域、並びに照射領域近傍の危険臓器の線量が計画通り投与されているかは分かりません。論文にて、検証結果を三次元化した 3D γ 解析方法が提示されています。本研究では現状行っている 2D γ 解析と 3D γ 解析でそれぞれ解析し、その結果と照射領域、照射領域近傍臓器の線量誤差の相関を調べ、どちらの解析の方が各領域の線量を正確に反映して検証できるかを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：放射線治療に用いた CT 画像、腫瘍位置や臓器のコンツール、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 谷口 礼実（研究責任者）

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上